

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	医療連携係
■評価事業名称	市町村医師養成事業負担金			
■事業開始年度	平成20年度			
■評価事業コード	040200 - 089	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	01 地域医療の充実		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	<p>岩手県内の県立病院及び市町村立病院等における医師不足の解消を図るために、医学部の学生に修学資金の貸付を行う。修学資金貸付の原資とするため、岩手県と各市町村が負担金を拠出する。負担金拠出先は岩手県国保連である。前記の対象者に毎月20万円、入学一時金760万円(私立大学入学者のみ)の修学資金を貸し付けする。貸付を受けた人は、医師として2年間の臨床研修の後、岩手県立または市町村立等の医療機関で6年間勤務した場合返還が免除される。</p>			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	市町村医師養成事業負担金	平成21年度から34年度まで全国の大学の医学	将来、県内の公的医療機関の医師として勤務する者への修学資金貸付事業に対する負担金支出。	将来、県内の公的医療機関の医師として勤務する者への修学資金貸付事業に対する負担金支出。負担金額5,541,111円。

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	5,259	5,220	5,735	5,541	
人件費	153	74	451	153	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,412	5,294	6,186	5,694	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	北上市出身者の奨学生の採用者数	0人	0人	0人	0人	
03	奨学金貸与を受けた人のうち、県内の公立病院に勤務した人の割合	—	—	—	—	奨学金貸与を受けた人のうち、県内の公立病院に勤務した人÷奨学金貸与を受けた人

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

### 達成状況の分析

短期間で実績が表れるものではない。

### 問題点・課題等

短期間で実績が表れてくるものではないため、評価が難しい。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
- ☒ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- ☐ 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- ☒ 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- ☐ 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- ☒ 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- ☐ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- ☐ 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☒ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

長期的に実績が表れてくることから、事業の継続が必要である。

### ■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小
- ☐ IV. 廃止・休止
- ☐ V. 完了